

住みたい 住み続けたいまち 海老名

2023

令和5年7月1日号

No. 1256

7/1

広

報

元気な

- P2 厚木駅南地区市街地再開発
7月6日、駅前広場を供用開始
- P9 海老名のごみ事情vol.26
ごみ減量に生ごみ処理機の活用を
- P10 夏休みに体験しよう

新しいまちが始動



海老名市

住みたい 住み続けたいまち

▼ 再開発のあゆみ ▼

- 昭和63(1988)年** 市街地再開発準備委員会が発足。約21haもの広域な計画であったことや、バブル崩壊による景気低迷などで凍結
- 平成16(2004)年** 地元団体の要望活動が活発化。まちづくりの検討を再開
- 平成22(2010)年** 地元有志らがまちづくりの説明会や勉強会を行い、市街地再開発に向けた取り組みを開始
- 令和元(2019)年** 6月、厚木駅南地区市街地再開発組合を設立
- 令和2(2020)年**



7月、既設建物の解体工事や道路、駅前広場などの工事に着手



4月、起工式。住居棟、商業棟、駐車場棟の工事に着手



9月、住居棟が上棟。建築工事が最盛期を迎える

令和5(2023)年 6月下旬、市街地再開発の工事が完了。現在に至る

市内初の市街地再開発事業

これまで市が行ってきたまちづくりは、海老名駅西口地区のように、農地や利用されていない土地などを宅地にして新たにまちをつくる「土地区画整理事業」と言われる「開発」でした。

厚木駅南地区は、元々あった建物の敷地を統合し、土地の利用方法を見直して、道路なども併せて整備する「市街地再開発事業」と言われる「再開発」で、本市初の挑戦でした。これにより、居住世帯は約8倍になり、ロータリーを備えた駅前広場（4・5^{、6}）が誕生します。

インタビュー

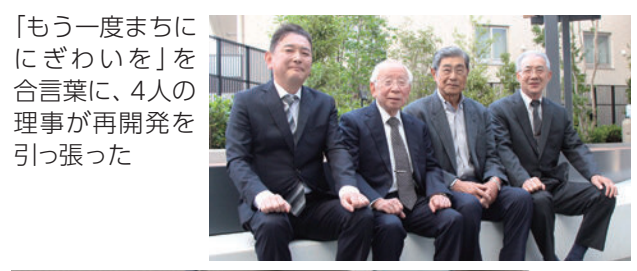


厚木駅南地区市街地再開発組合の石川理事長に、厚木駅周辺の変遷や再開発に込めた願いを聞きました。

厚木駅周辺のにぎわいを願って

厚木駅周辺は江戸時代の頃から交通の要衝でした。子どもの頃は商店街が並んでいて日常の買い物には十分でした。にぎやかな印象でしたが、海老名駅が現在の場所にできてからは横浜方面に行く人が増え、人の流れが変わりました。同じ頃に物流が貨車からトラックに変わったこともあり、だんだんとまちのにぎわいが失われていきました。

再開発の話は昭和63年から何度かありましたが、非現実的な規模だったり、バブル崩壊があったりと実現に至りませんでした。何とかしなきゃと地元の人はみんな感じていたと思います。今回の再開発はタイミングよく進んでうれしかったです。住居だけでなく、今までなかった駅前広場などを盛り込むことができました。人やまち、交通などを介して多くのつながりを生むことを期待し、まちの名称を「ファーストリンクテラス」と名付けました。これからは、周辺地域と一緒に発展することで、にぎやかなまちが復活することを願っています。



「もう一度まちのにぎわいを」を合言葉に、4人の理事が再開発を引っ張った

厚木駅南地区市街地再開発

7月6日、駅前広場を供用開始

市街地整備課 ☎(235)9605

小田急線とJR相模線が交差する厚木駅の駅前には、地域の拠点でありながらも、建物の老朽化や駅前広場がないなどの課題を抱えていました。課題を解決し、住みやすくにぎわいのあるまちを目指して、令和元年に組合が設立され、市内初の市街地再開発事業を行いました。生まれ変わったまちの概要をお知らせします。



3 住居棟・商業棟

～人の交流を生むまちへ～

住居棟と商業棟の完成により、新たなにぎわいの創出が期待できます。商業棟は駐車場や駐輪場もあり、テナントが出店予定です。

- ・居住世帯は24戸から201戸に増加
- ・商業区画は2階建ての商業棟と住居棟B棟1階部分



車でロータリー進入経路は上図を参照ください。県道43号からは進入できません。ご注意ください



まちのイメージが明るく見える効果を期待して、屋根に光を通しやすい素材を使用しました



ロータリー周りはベビーカーや車いすが安全に通行できる幅広い歩行空間を設けました

1 駅前広場

～車での送迎が便利に～

厚木駅前の顔となる、ロータリーを備えた駅前広場を整備しました。広い歩行空間に加え、一般車とタクシーの乗降場などを配備。送迎の安全性と利便性の向上が期待できます。7月6日(木)に供用を開始します。



- ・一般車乗降場3台 (うち1台は身障者用)
- ・タクシー乗場・降場各1台
- ・タクシー待機場2台

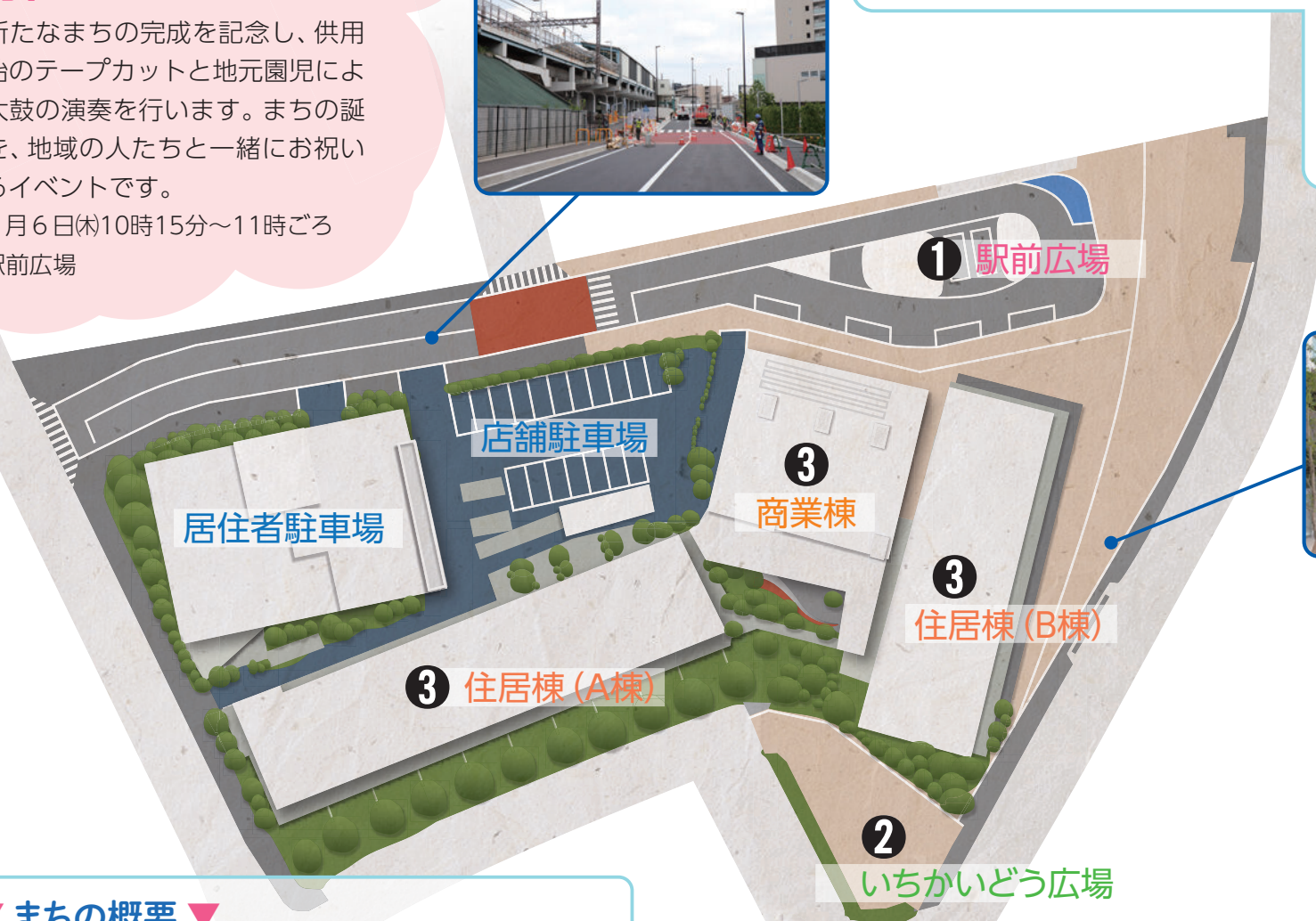
適度な植栽がまち全体を彩ります



7月6日 まち開きイベント 開催

新たなまちの完成を記念し、供用開始のテープカットと地元園児による太鼓の演奏を行います。まちの誕生を、地域の人たちと一緒に祝いするイベントです。

日 7月6日(木)10時15分～11時ごろ
場 駅前広場



▼ まちの概要 ▼

- ・面積：約1ha
- ・構成：駅前広場、いちかいどう広場、住居棟、商業棟、駐車場
- ・タウンネーム：ファーストリンクテラス

2 いちかいどう広場

～交流や憩いの場に～

まちの南側には、憩いのスペース「いちかいどう広場」があります。名称は、地名の小字である市街道に由来しています。



パーゴラにテント幕を設置することで、災害時は仮設テントとして多目的に活用できます



・ベンチ2台

ロータリーを備えた「駅前広場」や、憩いの場となる「いちかいどう広場」のほか、住居棟や商業棟を整備しました。海老名駅と厚木駅、河原口や中新田・さつき町などの地域と交通・まち・住民同士などさまざまなつながりを生む役割が期待されます。

生まれ変わった
まちの姿

海老名市ホームタウンデー SC相模原が試合に無料招待

園文化スポーツ課 ☎(235)4927

本市をホームタウンとするJリーグプロサッカーチーム「SC相模原」が、2023明治安田生命J3リーグ「SC相模原」対「奈良クラブ」戦に抽選で500人を無料招待します。応募は1人1座席です。

日7月15日(土)18時キックオフ(16時開場)
場相模原ギオンスタジアム(相模原市南区下溝4169)

対市内在住・在勤・在学の方
定500人

申二次元コードから。応募は「JリーグID」の登録が必要。7月10日(月)締め切り
他座席はB自由席。当選者には7月11日(火)にメールで通知



申し込みページ



「海老名市二十歳の祝典」 実行委員募集

園学び支援課 ☎(235)8411

来年1月8日(月)(祝)に開催予定の「海老名市二十歳の祝典」の企画や運営に携わる実行委員を募集します。友人同士の参加も大歓迎です。

対平成15年4月2日～16年4月1日生まれの方
定10人程度

内式典の企画構成、月1～2回の会議、事前準備、当日の運営など
申電話で学び支援課へ。7月31日(月)締め切り



海老名市消防操法大会

園消防総務課 ☎(231)0394

市内14の消防分団が一堂に会してポンプ車操法などの一連の動作を披露します。地域防災力の要の一員である消防団員の日頃の訓練成果をご覧ください。直接会場へ。

日7月9日(日)7時55分～12時(小雨決行・荒天中止)
場市役所西側催事広場



「熱中症警戒アラート」で危険な日をお知らせ

園健康推進課 ☎(235)7880

熱中症は5月ごろから発生し、梅雨が明けるころから増加します。暑さで体温調整がうまくできない時に起こり、最悪の場合は死に至ります。

「熱中症警戒アラート」は、気温や湿度、日差しの強さなどによる「暑さ指数(WBGT)」をもとに国が発表する通知です。環境省のLINE公式アカウントや、防災行政無線、えびなメールサービスなどでお知らせします。



環境省LINE公式アカウント

えびな市民まつり 参加団体募集

園えびな市民まつり実行委員会事務局
(市民活動推進課内) ☎(235)4794

11月19日(日)に海老名運動公園で開催する「えびな市民まつり」の参加団体を募集します。主に市内で活動している団体が対象です。詳細は、7月3日(月)から市ホームページに掲載します。

内費「ブース出店」飲食・物品販売・展示・体験/有料
「ステージ」ダンス・フラダンス・和太鼓など/無料
申7月3日(月)から、LINE「海老名市」で。申込書を郵送または直接市民活動推進課へも可。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロードできます。31日(月)締め切り(必着)

「LINE」で応募

- 1 LINEアプリ内で「海老名市」を検索し、友だち登録をする
- 2 メニューの「予約・イベント」から「えびな市民まつり」を選択する



LINE「海老名市」

重度の場合は 迷わず救急車を

熱中症を疑う症状が出た時は涼しい場所へ移動し、体を冷やすなど早めに処置をしましょう。症状は、めまいや頭痛、吐き気などさまざまで、最悪の場合は死に至ります。意識障がいなど重度の場合は、迷わず救急車を要請してください。

主な予防策

「熱中症警戒アラート」の通知がある時は、不要不急の外出を避ける

エアコン・扇風機を使用し、室温を調整する



こまめに水分や塩分を補給する



涼しい服装をし、外出時には日傘や帽子を着用する



ごみ減量に 生ごみ処理機の活用を

環境政策課 ☎(235)4923

食べ残しや調理くずなどの生ごみは燃やせるごみの中で最も多く、約6割を占めます。生ごみの水切りを行うなどのほか、生ごみ処理機を活用してごみの減量に取り組みましょう。市は生ごみ処理機購入費用を補助しています。

食べきりも生ごみ減量に有効
食べ物を残さず食べきることも、生ごみの減量に効果的です。外食時には適量を注文するよう心掛けましょう。

- LINEアプリ内で「海老名市」を検索し、友だち登録をする
- メニューから「ごみ」を選択し、「生ごみ処理機購入補助（購入前申込）」から予約する



補助額
電動式 上限5万円
非電動式 上限2万5000円

生ごみ処理機の購入は補助金を活用しましょう
購入費用の最大4分の3を補助します。詳細は、環境政策課へ問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。補助金の申請手順は、市公式YouTube「生ごみ処理機手続編」でも紹介しています。



使ってみました

生ごみが約6分の1に

1kgの生ごみが、0.16kgになりました。独特のにおいはありますが、水分が飛んでパリパリになり、ごみかさも減りました。燃やせるごみの袋も今までより小さくなり袋代の節約にもなりました。



本体価格は参考価格です。補助額は100円未満切り捨て

【電動式】リサイクラー

本体価格9万円

補助金活用で4万円に



電気で生ごみを乾燥。肥料の元としても利用できます。

生ごみ処理機の例

家庭系ごみ一部有料化・戸別収集導入後アンケート結果

「ごみの分別や出し方を有料化導入前より注意するようになりましたか」という質問に対し、「はい」と回答した人が約8割いたことから、ごみ減量意識の高まりが分りました。

アンケート結果の詳細は、市ホームページをご覧ください。ご協力ありがとうございました。
【実施期間】令和4年9月1日～30日
【総回答数】1,555世帯(回答率51.8%)



アンケート結果
紹介ページ

えびな生きもの 大調査

環境政策課 ☎(235)4912

市内に生息する「植物」「昆虫」「鳥」その他の動物「魚・両生類」「爬虫類」を探し、調査記録する「えびな生きもの大調査」を行います。全4ジャンルの市内の生き物を、絵や写真などを添えて記録しましょう。

期7月1日(土)～9月29日(金)
対市内在住の方
申請調査シートに必要事項を記入し、直接環境政策課へ。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可
他参加賞あり。無くなり次第終了



昆虫

＜生きもの調査データ＞

- 生きもの名前
トンボ
- 見つけた日にち
8月11日
- 見つけた地域
上今泉
- 見つけた場所
北部公園

見つけた生きものの絵または写真

記入みほん

第7回 えびな SDGs

私たちに できること

持続可能なより良い未来の実現を目指し、できることから始めてみませんか。SDGsの17の目標を毎月1日号で紹介します。

環境政策課 ☎(235)4912



目標7 日本は電力消費量が世界で4番目に多い一方で、エネルギー資源の約9割を輸入に頼っています。発電の7割以上は、CO₂排出量が多く資源枯渇問題がある化石燃料で賄っています。この課題に向き合い、持続可能なエネルギーが使える社会を目指しましょう。

省エネに取り組む

- 家庭の電力消費量の5割以上を占めているエアコン、冷蔵庫、照明の使用方法の見直しは省エネルギーにつながります。
- ◆**エアコン** ①カーテンを閉めて窓際を断熱する②ドア・窓の開閉回数を減らす③扇風機を併用する
 - ◆**冷蔵庫** ①詰め込みすぎない②適切な設定温度にする③壁から適切な間隔をとる
 - ◆**照明** ①白熱電球・蛍光灯をLEDに取り換える②点灯時間を短くする

再エネを取り入れる

国・県・市の各種補助制度を利用した太陽光発電設備の設置や、小売電気事業者が提供する再エネ電気プランに切り替えるなど、再生可能エネルギーの使用を取り入れましょう。



環境保全対策
支援事業補助
金ページ

えびな文化財探究舎体験講座 ～歴史を感じて体験しよう～

関教育総務課 ☎(235)4925

※共通事項
費200円(材料費)申原則市ホームページで。郵送の場合には往復はがきで、返信用表面に住所・氏名を、往信用裏面に住所・氏名・フリガナ・電話番号・学年・講座名・日時を記入し、〒243-0422中新田377海老名市教育総務課文化財係へ。7月18日(火)締め切り(必着)他応募多数の場合は抽選。えびな市民活動センター駐車場の利用は有料です



矢じり作り
縄文時代と同じ方法で石器作りをします。
8月1日(火)14時～16時場えびな市民活動センター
タービナレッジ市内在住・在勤・在学の小学校5年生以上の方定10人関御堂島 正氏(公財)かながわ考古学財団理事
まが玉・瓦のレプリカ作り
出土品を見ながら、プラスチック粘土や色を付けた石こうを使ってまが玉と瓦のレプリカを作ります。所要時間は各回約50分です。
8月2日(水)／えびな市民活動センタータービナレッジ、3日(木)／(公財)かながわ考古学財団門沢橋出土品整理室(門沢橋6805-1)時9時30分から11時から13時30分から15時から市内在住・在勤・在学の小学生以上の方定各回12人他小学校3年生以下は保護者同伴。3日は終了後に出土品などの見学あり



矢じり申し込み



まが玉・瓦申し込み

命の大切さを学ぼう



親子救命入門コース
心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使用方法を学びます。参加者には参加証を交付します。
8月3日(木)・12日(土)・17日(木)時10時～11時30分・13時～14時30分・15時～16時30分本署市内在学の小学校4～6年生と保護者定各回先着8組16人費無料申7月4日(火)9時から、電話で警防課へ。24時間受け付け

関警防課 ☎(231)0932

動物とふれあおう

夏休みポニーふれあい教室
ポニーのお世話や乗馬などを体験します。
7月21日(金)・25日(火)・28日(金)、8月3日(木)・6日(日)・10日(木)・17日(木)・20日(日)・24日(木)・26日(土)時9時30分～11時30分海老名運動公園内えびなポニー広場市内在住の小学生定各日先着15人乗馬・餌やり・ブラッシングなど費無料申7月5日(水)12時から、LINE「海老名市」で。12日(水)締め切り他参加は1日のみ。荒天中止。駐車場の利用は有料です

関文化スポーツ課 ☎(235)4927



ものづくり探訪隊 ～ものづくりの現場を見に行こう～

関商工課 ☎(235)4843

清涼飲料の製造工程を見学するほか、容器リサイクルの取り組みを学びます。



ココ・コーラボトラーズ
ジャパン(株)
上河内33

金属加工や小型ヨットの製造など、独自の技術を持つ7社で構成された市内唯一の工業団地を見学します。



海老名工業団地
本郷348・10

バスで市内の工場や企業を巡り、見学などをします。自由研究にお勧めです。
8月1日(火)／市内在住の小学校1～4年生と保護者定8月3日(木)／市内在住の小学校5・6年生
時①12時30分～16時②13時～16時30分
定①10組20人②20人

荷台などのトラックボディの製造や、車両の改造現場を見学します。



(株)パプコ
柏ヶ谷456

県西部に集配する郵便物などの集約や、仕分け作業などを見学します。



日本郵便(株)
神奈川西郵便局
中野3・15・1

7月3日(月)から、LINE「海老名市」または市ホームページで。申込書を郵送または直接商工課へも可。申込書は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロードできます。14日(金)締め切り(必着)他応募多数の場合は抽選



申し込みページ

将棋にふれよう

関文化スポーツ課 ☎(235)4797 関(233)9118

親子ふれあい将棋教室
「初心者コース」「勉強コース」の2コースがあります。海老名市出身の棋士・北浜健介八段がルールや戦法を解説し、親子で対局します。
8月26日(土)9時30分～11時30分市内在住の小・中学生と保護者定初心者コース／20組、勉強コース／30組費1組800円(参加費)



※共通事項
場市役所401会議室ほか申7月6日(木)から、LINE「海老名市」で。ファクスまたは直接文化スポーツ課へも可。ファクスまたは、イベント名・住所・氏名・電話番号・学校名・学年を、将棋教室は保護者の氏名・希望コースも記入。31日(月)締め切り(必着)他応募多数の場合は抽選。参加費あり。両イベントの参加可

「小学生低学年」「小学生高学年」「中学生」の3部門で対局します。
8月26日(土)13時～17時市内在住の小・中学生定小学生／各40人、中学生／20人費500円(参加費)

えびなっ子将棋名人戦
「小学生低学年」「小学生高学年」「中学生」の3部門で対局します。

国民年金保険料免除・猶予の申請

☎ 国保医療課 (235)4596
厚木年金事務所 (223)7171

国民年金保険料の納付が経済的に困難な場合、本人・配偶者・世帯主の所得に応じて保険料の納付が「免除」または「猶予」されます。7月1日(土)から、7月～令和6年6月分の申請を受け付けます。窓口の混雑緩和のため、日本年金機構神奈川事務センター(〒220-8557住所記入不要)へ郵送またはマイナポータルでの申請にご協力ください。市役所で申請する場合は予約が必要です。詳細は、国保医療課へお問い合わせください。
☒ 厚木年金事務所(厚木市栄町1-10-3)または市役所1階6番窓口☒ 身分証明書・年金手帳または基礎年金番号通知書・個人番号が分かるもの・雇用保険被保険者離職票(失業の場合)など。代理人が手続きする場合は委任状

迷惑電話防止機器(録音機)の貸し出し

☎ 地域づくり課 (235)4789

詐欺などの犯罪を防止するため、電話に取り付ける録音機を貸し出します。
☒ 70歳以上の人が住む世帯☒ 無料
申(月)～(金)(祝除く)に電話で海老名警察署生活安全課(☎232・0110)へ

クックパッドで料理レシピを公開中

☎ 健康推進課 (235)7880

市管理栄養士などが考案したレシピをクックパッド市公式ページ「えびなkitchen」に掲載し、随時更新しています。



6月26日公開レシピ
キャベツとキウイの甘酢和え



パートナーシップ宣誓制度の自治体間連携を開始

☎ 市民相談課 (235)4568

今月から、海老名市・厚木市・秦野市・伊勢原市・愛川町・清川村で「パートナーシップ宣誓制度に係る自治体間連携」を開始します。同制度利用者が転入・転出などで他自治体に異動する時、同制度利用手続きが簡素化されます。詳細は、市民相談課へお問い合わせください。

障がい者福祉手当の申請

☎ 国保医療課 (235)4823

毎年申請が必要です。7月1日現在で市内に住居登録があり、①～③のいずれかに該当、かつ住民登録上同一世帯全員の今年度の市民税が非課税の方が対象です。①身体障害者手帳1～3級を所持②療育手帳を所持、または児童相談所などで知能指数75以下と判定された③精神障害者保健福祉手帳1・2級を所持。

☒ 障害者手帳・振り込み先が分かるもの・1月2日以降に転入した方は世帯全員の課税(非課税・所得)証明書☒ 7月1日(土)から、申請書を郵送または直接国保医療課へ。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。8月31日(休)締め切り(消印有効)

国民健康保険被保険者証を送付

☎ 国保医療課 (235)4594

8月から使用できる被保険者証(保険証)を今月中に送付します。被保険者証は紛失・汚損することがないように保管してください。

後期高齢者医療制度保険料納入通知書と被保険者証(保険証)を送付

☎ 国保医療課 (235)4595

今年度の後期高齢者医療保険料の納入通知書を今月中に送付します。納付方法などは、納入通知書で確認してください。負担割合が変更となった人には、8月から使用できる被保険者証を送付します。今月中に送付がない人は負担割合の変更はありません。現在の被保険者証を引き続き使用してください。

お知らせ

温故館を休館

☎ 海老名市温故館 (233)4028

7月3日(月)～14日(金)は、館内照明のLED化工事などのため休館します。

7月は「社会を明るくする運動強調月間」安全・安心な地域社会のために

☎ 福祉政策課 (235)4820

今月は、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域づくりを目指す「社会を明るくする運動強調月間」です。犯罪や非行の防止と更生への理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築きましょう。

更生保護の担い手「保護司」とは

保護司は、国から委嘱されて犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。現在、市内では23人が活動し、地域や個々の状況に合わせた指導・援助をしています。詳細は、福祉政策課へお問い合わせください。

7月11日～20日「夏の交通事故防止運動」

☎ 地域づくり課 (235)4789

「交通ルールを守って 夏を楽しく安全に」をスローガンに、夏の交通事故防止運動を実施します。正しい交通マナーとルールを実践し、交通事故防止を徹底しましょう。



訪問型産後ケア事業を開始

☎ こども育成課 (235)7885

産後に家族などの支援者から援助が受けられず、支援を必要とする母親と乳児を対象にした支援事業を始めます。助産師が訪問して、心身のケアなどの育児支援を行います。利用には要件があります。詳細は、こども育成課へ問い合わせまたは市ホームページをご覧ください。

◆出張健康教室
「食中毒に気を付けよう」
夏に発生しやすい食中毒の予防法について講話します。
☐ 7月27日(木)10時～11時30分 場園分コミセン
☒ 市内在住の方 ☒ 30人 ☒ 海老名市食品衛生協会、市保健師・管理栄養士 ☒ 無料 ☒ 7月3日(月)から、電話または直接健康推進課へ。
18日(火)締め切り ☒ 応募多数の場合は抽選

☎ びなウエル (204)4560

びなウエル健康教室



◆エクササイズクラス「夏の疲れをクールダウン」

夏の暑さで乱れがちな自律神経を整える、クールダウンストレッチです。
☐ 8月25日(金)19時～20時30分 場園分びな市民活動センタービナ
レッジ ☒ 15人 ☒ 山口薫氏(健康運動指導士)

◆レクチャークラス「高血圧?と思ったら、知っておきたい」

血圧管理や高血圧予防の方法などを話します。
☐ 8月26日(土)14時30分から 場園分びなウエル(めぐみ町3-1-1)ビナ
ガーデンズパーチ6階 ☒ 20人 ☒ 田中守氏(海老名おはよう内科クリニック院長)

共通事項

☒ 市内在住の18歳以上の方 ☒ 無料 ☒ 7月5日(水)から、☒ 月 ☒ 金 ☒ 13時～20時、☒ 土 ☒ 日 ☒ (祝)は10時～20時に、電話または直接びなウエルへ。8月16日(水)締め切り ☒ 応募多数の場合は抽選。駐車場の利用は有料です



健康講座



☎ 健康推進課 (235)7880

◆大好きおやつ講座

お子さん向けのおやつを作ります。試食あり。
☐ 8月3日(木)9時45分～12時 場園分市民活動センタービナレッジ ☒ 市内在住の20歳以上の方 ☒ 13人 ☒ 300円(食材代) ☒ 生活改善推進団体えびな会 ☒ 7月4日(火)から、電話または直接健康推進課へ。24日(月)締め切り ☒ 応募多数の場合は抽選。2歳以上、若干名の託児あり。要予約。駐車場の利用は有料です

スマホの基本操作を体験 シニア向け「スマホ教室」

☎ デジタル推進課 (235)8400

デジタル化への不安がある人に向けた教室です。現在契約中の通信会社を問わず、1コースのみ参加できます。申し込み先はコースにより異なります。

◆Aコース

スマホの基本操作やLINEアプリの使い方学びます。端末は貸し出します。

☐ 7月20日(木)13時～15時 / 本郷コミセン、26日(水)14時～16時 / 上今泉コミセン ☒ ソフトバンクスマートフォンアドバイザー ☒ 7月4日(火)10時から、電話でデジタル推進課へ。7日(金)締め切り ☒ 駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください

◆Bコース

カメラやメール、電話などの基本操作を学びます。

☐ 7月19日(水)13時30分～15時30分 / 市役所702会議室 ☒ ドコモスマートフォンアドバイザー ☒ スマートフォン(貸し出しもあり) ☒ 7月4日(火)10時から、電話でドコモショップ海老名駅前店専用ダイヤル(☎070・4157・4780)へ「海老名市シニア向けスマホ教室」と伝えてください。7日(金)締め切り

共通事項

☒ 市内在住の65歳以上で、スマートフォンを持っていない、または操作が不慣れた方 ☒ 各回先着20人 ☒ 無料 ☒ 初めての方限定

「はじめてのにほんご」
県央教室(全14回)

☎(公財)かながわ国際交流財団
☎045(620)0011

平仮名を読むことができる人向けの日本語教室です。日本語を勉強したい人にお知らせください。

☎8月23日～11月29日の毎週(11月22日除く) 10時～12時 市役所会議室 先着15人 無料 8月7日(月)～10日(休)に直接市役所エントランスホールへ

催し

「障がい者のくらしの支援」
パネル展

☎海老名市社会福祉協議会
☎(244)3950

障がい者の暮らしの支援をテーマに、各種団体や相談支援事業所などの取り組みを紹介します。

☎7月10日(月)～14日(金) 市役所エントランスホール

LINE公式アカウント
「海老名市」



☎デジタル推進課 ☎(235)8400

受信設定から欲しい情報を選択できるほか、各種申請や、イベント・講座の予約などができます。



市では、自主財源確保のため広告を掲載しています。掲載のお問い合わせは、(株)横浜メディアアド(☎045・450・1808)へ。

Web創業応援セミナー

☎商工課 ☎(235)4843

創業前に必要な準備と心構えなどをオンラインで学びます。詳細は、平塚信用金庫(☎0463・24・3031)へお問い合わせください。

☎7月28日(金)18時～20時 創業希望者・創業5年未満の経営者 先着50人 内講【第1部】『創業』する前に勝負は決まっている～創業前にあなたが考えないといけないこととは?～/浦川拓也氏(神奈川県よろず支援拠点コーディネーター)【第2部】『創業事業計画書』の作成について/神奈川県信用保証協会職員 無料 7月3日(月)から、電話で海老名市基幹型地域包括支援センター(☎233・0111)へ 駐車場の利用は有料です

地元で起業を応援!
創業塾(全5回)

☎海老名商工会議所 ☎(231)5865

国認定の「特定創業支援等事業」の講座です。成功する起業戦略や販売促進術などを学びます。

☎8月13日・20日・27日(日)/オンライン(Zoom)、9月3日・10日(日)/海老名市商工会館(めぐみ町6-2) 10時～15時 創業希望者・創業5年未満の経営者で、全5回参加できる方 先着30人 無料 7月3日(月)から、電話で海老名商工会議所へ。同所ホームページからも可。8月4日(金)締め切り

女性の活躍推進事業所

☎市民相談課 ☎(235)4568

ワーク・ライフ・バランスや子育てへの配慮など、男女が共に働きやすい職場環境作りに積極的に取り組む事業所を募集します。優れた事業所は表彰します。

☎次のいずれかに該当する事業所①女性の能力活用や管理職への登用をしている②仕事と家庭生活の両立を支援している③男女共に働きやすい職場環境を整備している 7月3日(月)から、応募用紙を郵送または直接市民相談課へ。市ホームページからも可。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。9月1日(金)締め切り(必着)

元気いっぱい!!海老名にぎわい
スタンプラリー参加店舗

☎商工課 ☎(235)8439

市内の店舗を巡る「元気いっぱい!!海老名にぎわいスタンプラリー」のスタンプ対象となる店舗を募集します。今回から大型店舗も参加できます。スタンプラリーは10月2日(月)～令和6年1月31日(休)です。詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎2,000円以上の賞品を提供できる市内の店舗(規模は不問) 7月1日(土)から、応募用紙を郵送で商工課へ。市ホームページからも可。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。31日(月)締め切り(消印有効) 参加店舗の情報は、スタンプラリー台紙と市ホームページなどに掲載

認知症サポーター
ステップアップ講座



☎地域包括ケア推進課
☎(235)4950

認知症サポーター養成講座を受講した人が対象です。修了後は、地域の認知症カフェなどでサポート活動に参加します。

☎7月25日(火)13時30分～15時30分 総合福祉会館 先着30人 無料 7月3日(月)から、電話で海老名市基幹型地域包括支援センター(☎233・0111)へ 駐車場の利用は有料です

まると!介護予防
教室(全13回)



☎地域包括ケア推進課
☎(235)4950

運動や栄養、認知症などをテーマに、介護予防について学びます。送迎あり。☎9月7日～12月7日の毎週(11月23日(祝)除く) 10時～12時 総合福祉会館 市内在住の65歳以上で要支援1・2の方、地域包括支援センターでのチェックリスト・面接による条件を満たした方 15人 無料 7月18日(火)締め切り 初めての方優先。応募多数の場合は抽選。駐車場の利用は有料です



あの景色、見にいこう
えびなタイムマシン



今号の「えびなタイムマシン」はお休みします。

広報えびな 点字版・音声版

☎障がい福祉課 ☎(235)4813

広報の文字が見えにくい方にお送りします。

ひきこもりの理解と
支援講演会

「本人の歩みに寄り添うとは
～相談員の体験と実践から～」

☎学び支援課 ☎(235)8411

講師自身の不登校やひきこもりの経験から、支援のあり方を学びます。

☎7月22日(土)14時～15時30分 えびなこどもセンター201会議室 市内在住・在勤・在学の方 先着30人 丸山康彦氏(ヒューマン・スタジオ代表) 無料 7月3日(月)から、電話で学び支援課へ 講演会後に相談会あり。希望者は申し込み時に伝えてください

不登校の中学生のための
進路情報相談会

☎教育支援センター ☎(234)8764

不登校を経験した生徒を受け入れている高等学校などの職員が、進学や進路の相談に応じます。

☎7月23日(日) 10時30分～12時30分・13時30分～15時30分 文化会館351多目的室 不登校の中学生と保護者 無料 7月3日(月)から、電話で教育支援センターへ 駐車場の利用は有料です

令和5年度海老名文化
スポーツ賞候補者

☎文化スポーツ課 ☎(235)4927

文化とスポーツの振興に優れた功績を残した個人・団体に贈る「海老名文化スポーツ賞」の候補者を募集します。自薦・他薦は問いません。11月3日(金)祝に贈呈式を行います。

☎原則、令和4年8月～5年7月末に次の功績がある方。【文化大賞】国際規模で上位入賞、全国で最高位など【スポーツ大賞】国際規模で入賞、全国で優勝など【文化輝き賞】全国・関東で上位入賞、県で最高位など【スポーツ輝き賞】全国・関東で入賞、県で優勝など 推薦書を郵送または直接文化スポーツ課へ。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。8月10日(木)締め切り(必着)



お知らせ

地域の夏祭りなど
自治会の行事予定を掲載

☎海老名市自治会連絡協議会事務局
(地域づくり課内) ☎(235)4793

自治会が行う祭りなどの行事予定を、海老名市自治会連絡協議会ホームページに掲載しています。詳細は、同協議会ホームページをご覧ください。



案内ページ

募集

空き家無料相談会

☎住宅まちづくり課 ☎(235)9604

宅建士・行政書士・司法書士が、相続登記や空き家の売買、現在の住居を将来空き家にならないための相談に応じます。相談日は8月中に設けます。

☎市役所7階会議室 市内在住で将来住居が空き家になる可能性がある方 無料 7月4日(火)から、電話で住宅まちづくり課へ。31日(月)締め切り

大地震!わが家は大丈夫!?
無料耐震相談会

☎住宅まちづくり課 ☎(235)9392

専門相談員が大地震発生時の住宅倒壊の危険性を無料で診断します。

☎8月5日(土)13時30分～17時(1組45分程度) 市役所702会議室 昭和56年5月31日以前に建築した2階建て以下の在来工法木造住宅 先着9組 7月3日(月)から、電話で住宅まちづくり課へ。26日(水)締め切り

ご寄付ありがとうございます
(敬称略)

◆文化財啓発事業へ

・海老名櫛ロータリークラブ
大櫛ストラップ 1,200個

平和のつどい 2023

☎ 市民相談課 ☎ (235) 4568

世界で起こっている紛争の実態の講演会のほか、アニメ映画「この世界の片隅に」を上映します。市民の戦争体験講話の上映なども行います。終戦の日を前に平和について考えましょう。

☐ 8月6日(日)13時～16時20分 場 文化会館小ホール 市内在住・在勤・在学の方 定 先着300人 費 無料 申 7月3日(月)から、LINE「海老名市」または市ホームページで。電話で市民相談課へも可 他 手話通訳、要約筆記あり。2歳～就学前、若干名の託児あり。要予約。7月18日(火)締め切り。駐車場の利用は有料です



LINE
「海老名市」



【講演会講師】永井陽右氏

海老名市出身。NPO法人アクセプト・インターナショナル代表理事。テロと紛争を解決するため、紛争地でテロ組織の投降兵などの社会復帰支援などを行っている。



© 2019 こうの史代・コアミックス / 「この世界の片隅に」製作委員会

映画あらすじ

18歳で嫁ぎ、一家の主婦となったはずが主人公。戦時中日本海軍の本拠地であった広島県呉市を舞台に、戦時下での日々の営み、昭和20年の空襲・終戦を経て生きていく様子を描いた物語。

世帯数と人口

〈令和5年6月1日現在〉

世帯数

61,566世帯
(60,467世帯)

人口

139,781人
(138,856人)

男 70,201人
(69,698人)

女 69,580人
(69,158人)

※()内は前年同月
(令和4年6月)の値

今月の納税・納付

〈納期限7月31日(月)〉

- 固定資産・都市計画税 [2期]
- 国民健康保険税 [2期]
- 市営住宅使用料 [7月]
- 保育所保育料 [7月]
- 介護保険料 [2期]
- 後期高齢者医療保険料 [1期]
- 小学校給食費 [3期]
- 中学校給食費 [前期]

納付は、口座振替が便利です。

今号の題字

祝ひな

いろいろな生き物がいる海老名が好きです。
海老名小学校 やまなかはると 山中陽斗さん(10歳)



編集
雑記

特集の取材時に、厚木駅周辺が江戸時代から交通の要衝でにぎわっていたことや劇場があった昭和の頃のお話を聞き、頭の中に浮かんだ光景に想像を膨らませていました。今号の表紙は、見た方に「ここどこだろう」と興味を持ってもらえればと思い撮影しました。(け)